

< 参考資料 >

ゲストプロフィール

九頭龍クラブ(くずりゅうくらぶ)

子どもたちによる創作能『九頭龍』は神奈川・足柄地方の民話や伝説の中から能楽師と子どもたちが話し合い、ワークショップをする中から生まれた。

『九頭龍』の完成とともに、これを子どもたちで伝承していくために結成された団体が「九頭龍クラブ」である。

1998年に15名という少人数で産声をあげて以降、夏休みの稽古と最終日の発表会を積み重ね、現在ではその数も50名以上を数える。

- ・ 神奈川県小田原市城山1 - 6 - 32 Sビル2F
- ・ ホームページ
<http://www.clca.or.jp/club/kodomonou/>



大倉正之助(おおくら しょうのすけ)

大倉流 15 世宗家故大倉長十郎の長男。重要無形文化財総合認定保持者。

大倉家は室町時代より650年続く能楽囃子「大鼓・小鼓」の家。大倉正之助は9歳で初舞台を踏み、その後17歳で大鼓に転向。大鼓方としての能舞台の活動はもとより、自身で主催する能公演や、新能、各種公演の企画制作、国内外のアーティストとのライブパフォーマンス活動、教育機関での講演・ワークショップ活動など、大鼓という日本古来の伝統打楽器を通じて、幅広いジャンルで活動しながら、伝統文化の伝承と秘めた可能性を追究している。

大鼓の独奏演奏という新たな分野を確立した大倉正之助は、ダライ・ラマ法王ノーベル平和賞受賞記念公演にて演奏。また千年期最後となる2000年12月には、ローマ法皇より招聘されバチカン宮殿内コンサートホールでのクリスマスコンサートにて演奏するなど、世界各国の式典やイベントで「大鼓独奏」を披露。アトランタオリンピックではシンクロナイズドスウィミング日本代表チームの音楽に大鼓の音源を提供、またメルセデスベンツのCMに出演するなど、国内外のテレビ・雑誌・新聞等で広く紹介されている。

- ・ ホームページ <http://www.hiten-jp.com/index2.htm>

